



※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号番号	7	施設管理者	伊豆市
路線名	達磨山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	三ツ石橋
施設の所在地	伊豆市修善寺	起点からの距離	1.0km	建設年度	1975年
供用年数	45	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	1等橋(TL-20)	橋下条件	修善寺川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.00m		幅員(車道幅員)	6.80m(6.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)	SD30	塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	5.0km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	II	
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。	
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円	
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号	7	施設管理者	伊豆市
路線名	達磨山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	牧場橋
施設の所在地	伊豆市修善寺	起点からの距離	4.2km	建設年度	1978年
供用年数	42	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	1等橋(TL-20)	橋下条件	湯船川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	23.10m (21.89m)		幅員(車道幅員)	7.30m (6.50m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)	SD30	塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	5.8km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	II				
	調査結果	橋台に土砂詰まりが確認された。放置すると支承の腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	橋台に土砂詰まり FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号	7	施設管理者	伊豆市
路線名	達磨山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	桂谷橋
施設の所在地	伊豆市修善寺	起点からの距離	5.5km	建設年度	1979年
供用年数	41	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)	1等橋(TL-20)	橋下条件	湯船川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.00m		幅員(車道幅員)	6.30m(5.50m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)	SD30	塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	6.6km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	II	
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。	
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円	

管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	
----------	------	------------------------	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	4	林道台帳索引番号	7	施設管理者	伊豆市
路線名	達磨山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	深沢橋
施設の所在地	伊豆市大平	起点からの距離	7.0km	建設年度	1981年
供用年数	39	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	1等橋(TL-20)	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.00m (10.30m)		幅員(車道幅員)	6.55m (5.75m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)	SD30	塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	7.0km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	II				
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	5	林道台帳索引番号	7	施設管理者	伊豆市
路線名	達磨山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	小尻梨橋
施設の所在地	伊豆市大平柿木	起点からの距離	8.9km	建設年度	1980年
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)	1等橋(TL-20)	橋下条件	柿木川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.00m		幅員(車道幅員)	6.90m (6.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	7.5km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	II				
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	6	林道台帳索引番号	7	施設管理者	伊豆市
路線名	達磨山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	蓼原橋
施設の所在地	伊豆市大平柿木	起点からの距離	9.2km	建設年度	1980年
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)	1等橋(TL-20)	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.10m		幅員(車道幅員)	6.65m(5.75m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	7.4km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	II				
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	7	林道台帳索引番号	7	施設管理者	伊豆市
路線名	達磨山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	三沢橋
施設の所在地	伊豆市大平柿木	起点からの距離	10.6km	建設年度	1983年
供用年数	37	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	1等橋(TL-20)	橋下条件	奥山川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.00m		幅員(車道幅員)	7.00m (6.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	7.6km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	II				
	調査結果	横桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	横桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	8	林道台帳索引番号番号	7	施設管理者	伊豆市
路線名	達磨山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	原小屋橋
施設の所在地	伊豆市上船原	起点からの距離	13.9km	建設年度	1978年
供用年数	42	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	1等橋(TL-20)	橋下条件	数沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.00m		幅員(車道幅員)	6.30m(5.50m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	7.7km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	II				
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	9	林道台帳索引番号番号	17	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥中央線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	長野橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	1.6km	建設年度	1976年
供用年数	44	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.00m		幅員(車道幅員)	6.60m(5.70m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純鉄桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	3.2km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	II	
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。	
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円	
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	10	林道台帳索引番号	17	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥中央線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	山葵沢橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	1.8km	建設年度	1976年
供用年数	44	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.10m		幅員(車道幅員)	5.90m (5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純鉄桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	3.1km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	II				
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	11	林道台帳索引番号番号	17	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥中央線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	慶庵橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	3.7km	建設年度	1980年
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.00m		幅員(車道幅員)	6.30m(5.30m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純鉄桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	3.5km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の 概要	点検診断日	II	
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。	

長寿 命化 計 画 の 内 容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	(優先度の考え方)	予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検	約500千円

管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	
------	------------------------	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	12	林道台帳索引番号番号	17	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥中央線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道土肥中央線1号橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	6.2km	建設年度	1983年
供用年数	37	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.40m		幅員(車道幅員)	5.70m(4.90m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	無
		支承形式	エラストイト	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	—		海岸からの距離	4.3km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	I				
	調査結果	主桁に漏水・遊離石灰が確認された。				
	健全性の 診断結果	— FALSE	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	13	林道台帳索引番号	17	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥中央線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道土肥中央線2号橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	6.9km	建設年度	1984年
供用年数	36	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.50m		幅員(車道幅員)	8.80m (8.00m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	エラストイト		塗装使用の有無	無
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	4.6km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	II	
	調査結果	主桁に鉄筋露出が確認された。放置すると鉄筋腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	主桁に鉄筋露出 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	かぶり不足による鉄筋露出が考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。	
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円	
管理 方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	14	林道台帳索引番号	17	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥中央線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	藤ヶ沢橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	12.2km	建設年度	1987年
供用年数	33	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S59	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.00m		幅員(車道幅員)	9.50m (8.50m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	エラストイト		塗装使用の有無	無
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	3.9km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	II	
	調査結果	橋台にひびわれが確認された。放置すると雨水が内部に侵入し内部鋼材が腐食するなど、劣化が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	橋台にひびわれ FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	温度応力によるひびわれが考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。	
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円	
管理 方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	15	林道台帳索引番号	17	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥中央線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	萩尾橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	13.2km	建設年度	1981年
供用年数	39	種別	PC橋	型式	PC桁橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.00m	幅員(車道幅員)	6.00m(5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	PC単純中空床版		
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無
		支承形式	エラストイト	塗装使用の有無	無
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	—		海岸からの距離	3.5km	

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	II			
	調査結果	橋台にひびわれが確認された。放置すると雨水が内部に侵入し内部鋼材が腐食するなど、劣化が進展することが見込まれる。			
	健全性の 診断結果	橋台にひびわれ FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。		
	劣化原因	温度応力によるひびわれが考えられる。			

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度			
	内容	定期点検を行う。			
	実施予定時期	令和7年度に実施する。			
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円			
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。			

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	16	林道台帳索引番号番号	23	施設管理者	伊豆市
路線名	上池線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	要山橋
施設の所在地	伊豆市八木沢	起点からの距離	1.7km	建設年度	1974年
供用年数	46	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	2等橋(TL-14)	橋下条件	八木沢大川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.40m		幅員(車道幅員)	6.80m (6.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純合成鈹桁			
			鋼製(使用鋼材)	SD30	塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	1.8km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	III				
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	(優先度の考え方) 早期措置段階のため、優先度は「高」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として補修工を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				1.7		0.5				
対策の内容・実施時期				補修工		定期点検				

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	17	林道台帳索引番号	23	施設管理者	伊豆市
路線名	上池線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大山田橋
施設の所在地	伊豆市八木沢	起点からの距離	0.5km	建設年度	1958年
供用年数	62	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.60m		幅員(車道幅員)	3.90m (3.75m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	1.9km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年6月8日				
	調査結果	橋面に軽微なクラックが確認された。				
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	18	林道台帳索引番号	23	施設管理者	伊豆市
路線名	上池線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	向橋
施設の所在地	伊豆市八木沢	起点からの距離	0.4km	建設年度	1958年
供用年数	62	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.00m	幅員(車道幅員)	3.60m (3.30m)
	施設の構造等	上部工型式	T桁RC床版		
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無
		橋台工型式	重力式	基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-	海岸からの距離	2.0km		

施設の目的  
利用実態等

施設の 状態等 の 概要	点検診断日	令和2年6月8日	
	調査結果	主桁に鉄筋露出が確認された。放置すると鉄筋腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。	

長寿 命化 計 画 の 内 容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 0円	
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	19	林道台帳索引番号番号	25	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥戸田線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	猪野橋
施設の所在地	伊豆市小土肥	起点からの距離	0.3km	建設年度	1992年
供用年数	28	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	H2	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.00m		幅員(車道幅員)	6.20m (5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純鉄桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	3.4km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	III	
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	(優先度の考え方)	早期措置段階のため、優先度は「高」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検	約500千円
管理 方法	管理方法	長寿化対策として補修工を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)				1.4		0.5				
対策の内容・実施時期				補修工		定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	20	林道台帳索引番号	25	施設管理者	伊豆市
路線名	土肥戸田線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	樫橋
施設の所在地	伊豆市小土肥	起点からの距離	1.8km	建設年度	1996年
供用年数	24	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	H6	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.50m		幅員(車道幅員)	7.10m(5.90m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純鉄桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	3.8km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	II			
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。			
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。		
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。			

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度			
	内容	定期点検を行う。			
	実施予定時期	令和7年度に実施する。			
	施設の優先度	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円			

管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。			
------	------------------------	--	--	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	21	林道台帳索引番号番号	18	施設管理者	伊豆市
路線名	大洞2号線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道大洞2号線1号橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	0.1km	建設年度	1958年
供用年数	62	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.00m	幅員(車道幅員)	3.90m (3.50m)
	施設の構造等	上部工型式	T桁RC床版		
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無
		橋台工型式	重力式	基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-	海岸からの距離	3.9km		

施設の目的  
利用実態等

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年6月8日	
	調査結果	主桁・床版に鉄筋露出、支承に腐食がみられる。放置すると鉄筋腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、主桁・床版に鉄筋露出、支承に腐食がみられる。
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 0円	
管理 方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考

--

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	22	林道台帳索引番号番号	18	施設管理者	伊豆市
路線名	大洞2号線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大洞橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	0.43km	建設年度	1974年
供用年数	46	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S39	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.00m	幅員(車道幅員)	5.50m(4.80m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版		
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無
		橋台工型式	重力式	基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-	海岸からの距離	4.1km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の 概要	点検診断日	令和2年6月8日			
	調査結果	下部工に遊離石灰がみられる。			
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、下部工に遊離石灰がみられる。		
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。			

長寿 命化 計 画 の 内 容	計画期間	令和3年度～令和7年度			
	内容	定期点検を行う。			
	実施予定時期	令和7年度に実施する。			
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。		
	対策費用 (概算)	定期点検 0円			

管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。			
----------	------	------------------------	--	--	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	23	林道台帳索引番号番号	18	施設管理者	伊豆市
路線名	大洞2号線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	ガンギノ段橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	0.78km	建設年度	1979年
供用年数	41	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.00m		幅員(車道幅員)	6.00m (5.30m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	4.3km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年6月8日				
	調査結果	健全な状態である。				
	健全性の 診断結果	I 予防保全段階	健全な状態である。			
	劣化原因					
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全な状態であるため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	24	林道台帳索引番号番号	18	施設管理者	伊豆市
路線名	大洞2号線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	尾畑橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	1.0km	建設年度	1981年
供用年数	39	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.00m	幅員(車道幅員)	6.80m (6.10m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版		
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無
	橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	4.4km	

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年6月8日	
	調査結果	健全な状態である。	
	健全性の 診断結果	I 予防保全段階	健全な状態である。
	劣化原因		

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全な状態であるため、優先度は「低」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 0円	

管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。
----------	------	------------------------

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	25	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	伊豆市
路線名	上岩穴線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	沓掛場橋
施設の所在地	伊豆市土肥	起点からの距離	0.9km	建設年度	1980年
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.00m		幅員(車道幅員)	6.00m(5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純鉄桁			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	有	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	1.8km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	II	
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。	
	健全性の 診断結果	主桁に腐食 FALSE	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度に実施する。	
	施設の優先度	(優先度の考え方)	予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 約500千円	

管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。
----------	------	------------------------

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0.5				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	26	林道台帳索引番号番号	31	施設管理者	伊豆市
路線名	皆沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道皆沢線1号橋
施設の所在地	伊豆市湯ヶ島	起点からの距離	0.2km	建設年度	1963年
供用年数	57	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.50m		幅員(車道幅員)	5.50m(5.10m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	11.6km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年6月8日				
	調査結果	床版に鉄筋露出がみられる。放置すると鉄筋腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、床版に鉄筋露出がみられる。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	27	林道台帳索引番号番号	31	施設管理者	伊豆市
路線名	皆沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道皆沢線2号橋
施設の所在地	伊豆市湯ヶ島	起点からの距離	0.3km	建設年度	1964年
供用年数	56	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.00m	幅員(車道幅員)	5.50m(4.90m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版		
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無
		橋台工型式	重力式	基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-	海岸からの距離	11.4km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年6月8日			
	調査結果	床版に鉄筋露出がみられる。放置すると鉄筋腐食が進展することが見込まれる。			
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、床版に鉄筋露出がみられる。		
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。			

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度			
	内容	定期点検を行う。			
	実施予定時期	令和7年度に実施する。			
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。		
	対策費用 (概算)	定期点検 0円			

管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。			
----------	------	------------------------	--	--	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	28	林道台帳索引番号番号	28	施設管理者	伊豆市
路線名	南米沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道南米沢線1号橋
施設の所在地	伊豆市矢熊	起点からの距離	1.0km	建設年度	1967年
供用年数	53	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S39	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.00m		幅員(車道幅員)	5.50m (4.90m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	9.1km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年5月1日				
	調査結果	健全な状態である。				
	健全性の 診断結果	I 予防保全段階	健全な状態である。			
	劣化原因	健全な状態である。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全な状態であるため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	29	林道台帳索引番号番号	28	施設管理者	伊豆市
路線名	南米沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道南米沢線2号橋
施設の所在地	伊豆市矢熊	起点からの距離	4.17km	建設年度	1967年
供用年数	53	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S39	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.80m		幅員(車道幅員)	3.90m (3.50m)	
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版				
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無	
		支承形式	-	塗装使用の有無	無		
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	9.2km			
施設の目的 利用実態等							
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年5月1日					
	調査結果	健全な状態である。					
	健全性の 診断結果	I 予防保全段階	健全な状態である。				
	劣化原因	健全な状態である。					
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度					
	内容	定期点検を行う。					
	実施予定時期	令和7年度に実施する。					
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全な状態であるため、優先度は「低」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 0円					
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	30	林道台帳索引番号番号	45	施設管理者	伊豆市
路線名	カジカ沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大岩橋
施設の所在地	伊豆市冷川	起点からの距離	5.46km	建設年度	1960年
供用年数	60	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.40m		幅員(車道幅員)	4.00m (3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	T桁RC床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	15.6km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年2月28日				
	調査結果	床版に鉄筋露出がみられる。放置すると鉄筋腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、床版に鉄筋露出がみられる。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	31	林道台帳索引番号番号	45	施設管理者	伊豆市
路線名	カジカ沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	岩沢橋
施設の所在地	伊豆市冷川	起点からの距離	7.03km	建設年度	1962年
供用年数	58	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.50m	幅員(車道幅員)	4.00m (3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	T桁RC床版		
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無
		橋台工型式	逆T式	基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-	海岸からの距離	15.7km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の 概要	点検診断日	令和2年12月17日			
	調査結果	下部工にジャンカがみられる。			
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、下部工にジャンカがみられる。		
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。			

長寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和3年度～令和7年度			
	内容	定期点検を行う。			
	実施予定時期	令和7年度に実施する。			
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。		
	対策費用 (概算)	定期点検 0円			

管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。			
----------	------	------------------------	--	--	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	32	林道台帳索引番号番号	59	施設管理者	伊豆市
路線名	下道線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	林道下道線1号橋
施設の所在地	伊豆市下白岩	起点からの距離	8.93km	建設年度	1987年
供用年数	33	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S59	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.80m		幅員(車道幅員)	5.20m (4.20m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	13.5km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年3月3日				
	調査結果	下部工に漏水がみられる。				
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、下部工に漏水がみられる。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6月分年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0円					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	33	林道台帳索引番号	53	施設管理者	伊豆市
路線名	垂溜ヶ洞線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	林道垂溜ヶ洞線1号橋
施設の所在地	伊豆市上白岩	起点からの距離	9.23km	建設年度	1980年
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.50m		幅員(車道幅員)	3.60m (3.60m)	
	施設の構造等	上部工型式	鋼単純版桁				
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無	
		支承形式	-		塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	重力式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.1km			
施設の目的 利用実態等							
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年3月3日					
	調査結果	主桁・横桁・床版に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。					
	健全性の 診断結果	II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。				
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。					
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度					
	内容	定期点検を行う。					
	実施予定時期	令和6年度に実施する。					
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。				
	対策費用 (概算)	定期点検 0円					
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)			1.0		0円					
対策の内容・実施時期			塗装塗替工		定期点検					

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	34	林道台帳索引番号番号	56	施設管理者	伊豆市
路線名	蛇喰線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	林道蛇喰線1号橋
施設の所在地	伊豆市筏場	起点からの距離	10.6km	建設年度	1982年
供用年数	37	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S53	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.30m		幅員(車道幅員)	4.20m(3.80m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	12.2km		
施設の目的 利用実態等						

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年2月28日	
	調査結果	床版に鉄筋露出がみられる。	
	健全性の 診断結果	II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じる事が望ましい。
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度に実施する。	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 0円	

管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	
------	------------------------	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0円					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	35	林道台帳索引番号番号	47	施設管理者	伊豆市
路線名	梅木線	林道種類及び区分	-	橋梁名	林道梅木線1号橋
施設の所在地	伊豆市梅木	起点からの距離	13.88km	建設年度	1954年
供用年数	66	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S24	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.30m		幅員(車道幅員)	4.20m (3.80m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	13.9km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年2月28日				
	調査結果	橋台に洗堀がみられる。				
	健全性の 診断結果	II 予防保全段階	橋台に洗堀がみられることから、予防保全の観点から早期に措置を講じる事が望ましい。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)			1.0		0円					
対策の内容・実施時期			橋台補修		定期点検					

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	36	林道台帳索引番号番号	46	施設管理者	伊豆市
路線名	丸野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道丸野線1号橋
施設の所在地	伊豆市大幡野	起点からの距離	1.6km	建設年度	1966年
供用年数	54	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S39	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.20m	幅員(車道幅員)	4.00m (3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版		
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無
		橋台工型式	逆T式	基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-	海岸からの距離	15.0km		

施設の目的  
利用実態等

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年2月28日	
	調査結果	床版に漏水がみられる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じる事が望ましい。
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度に実施する。	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用(概算)	定期点検 0円	
管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。		

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0円					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考

--

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	37	林道台帳索引番号番号	41	施設管理者	伊豆市
路線名	村山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道村山線1号橋
施設の所在地	伊豆市上白岩	起点からの距離	0.81km	建設年度	1967年
供用年数	53	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S39	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.30m		幅員(車道幅員)	4.30m(3.90m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	逆T式		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	13.8km		
施設の目的 利用実態等						

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年2月25日	
	調査結果	下部工に漏水がみられる。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じる事が望ましい。
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度に実施する。	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 0円	
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0円					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	38	林道台帳索引番号番号	43	施設管理者	伊豆市
路線名	味ヶ洞線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	林道味ヶ洞線1号橋
施設の所在地	伊豆市冷川	起点からの距離	0.71km	建設年度	1967年
供用年数	53	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S39	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.50m		幅員(車道幅員)	3.30m(2.90m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.4km		
施設の目的 利用実態等						
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年2月25日				
	調査結果	床版・下部工に漏水がみられる。				
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じる事が望ましい。			
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 0円				
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0円					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	39	林道台帳索引番号番号	43	施設管理者	伊豆市
路線名	味ヶ洞線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	林道味ヶ洞線2号橋
施設の所在地	伊豆市冷川	起点からの距離	1.23km	建設年度	1967年
供用年数	53	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S39	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.30m		幅員(車道幅員)	5.00m (4.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	14.5km		
施設の目的 利用実態等						

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年2月25日	
	調査結果	下部工に漏水がみられる。	
	健全性の 診断結果	Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じる事が望ましい。
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。	

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度に実施する。	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 0円	
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0円					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考										



※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	40	林道台帳索引番号番号	60	施設管理者	伊豆市
路線名	最勝院線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	林道最勝院線1号橋
施設の所在地	伊豆市梅木	起点からの距離	0.38km	建設年度	1987年
供用年数	33	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S59	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.80m		幅員(車道幅員)	4.10m (3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	12.6km		
施設の目的 利用実態等						

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年2月28日	
	調査結果	健全な状態である。	
	健全性の 診断結果	I 健全な状態	健全な状態である。
	劣化原因	健全な状態である。	

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和3年度～令和7年度	
	内容	定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度に実施する。	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。
	対策費用 (概算)	定期点検 0円	
管理 方法	管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。	

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					0円					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	41	林道台帳索引番号番号	60	施設管理者	伊豆市
路線名	深之沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	林道深之沢線1号橋
施設の所在地	伊豆市修善寺	起点からの距離	0.36km	建設年度	1957年
供用年数	63	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)		橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.30m	幅員(車道幅員)	3.90m(3.70m)
	施設の構造等	上部工型式	RC単純床版		
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無
		橋台工型式	逆T式	基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-	海岸からの距離	6.8km		

施設の目的 利用実態等					
----------------	--	--	--	--	--

施設の 状態等 の 概要	点検診断日	令和2年5月1日			
	調査結果	橋面にひび割れがみられる。			
	健全性の 診断結果	II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じる事が望ましい。		
	劣化原因	経年劣化によるものと考えられる。			

長寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和3年度～令和7年度			
	内容	定期点検を行う。			
	実施予定時期	令和7年度に実施する。			
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。		
	対策費用 (概算)	定期点検 0円			

管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。				
------	------------------------	--	--	--	--

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)						0円				
対策の内容・実施時期						定期点検				

備 考										